

北海道全土をオンラインで繋ぎ、 生産者×栄養教諭等×食のプロで考える 北海道の「あたらしい学校給食」講習会

日時：2022年10月22日（土）10:00～12:30

主催：全国農業協同組合中央会(JA全中) 後援：北海道栄養士会 学校健康教育栄養士協議会

運営：和食給食応援団 参加費：無料 後援：JA北海道中央会（調整中）

インターネット配信によるオンライン参加

面積が広く、多様な農業・漁業文化、食文化が広がる北海道。学校給食も地域性があり、多彩な先生が各地で活躍されています。今回は、オンラインの力を活用して、北海道内様々な生産者、様々な経験を持つ栄養教諭・学校栄養職員をお招きして、みんなで考える北海道の「あたらしい学校給食」の講習会になります。

和食給食応援団では、今まで調理技術や年中行事情報などのテクニックを主にはお伝えしてきましたが、各地におられる生産者や栄養教諭等の想いなどを共有する取組を新たにスタート致します。

様々な日常業務に忙殺され、「なんのために栄養教諭・学校栄養職員になったのだろう？」という意識を持ってしまっている現状を、大きく変える「あたらしい学校給食」を、皆さんと考える会としたいと思っております。

米農家を中心とする北海道各地の生産者

北海道内の様々な地域から農業生産者に出演頂き、農業大国北海道の力を皆様にお見せします。米や馬鈴薯、にんじん等、児童生徒に伝えたい農業のすばらしさと面白さを北海道各地からお届けします。



各地で活躍する栄養教諭・学校栄養職員

自校や、所属自治体の学校給食は分かっても、他地域の学校給食についてはご存じでしょうか？各地でどういった食教育を行っているか、児童生徒に向き合っているかを各地の先生からお話し頂きます。

全国農業協同組合（JA全中）

心と体を支える食の大切さ、国産・地元産の豊かさ、それを生み出す農業の価値を伝える「みんなのよい食プロジェクト」という運動を展開。和食文化の継承や米消費拡大への取り組みの一環で和食給食応援団と連携。



和食給食応援団

2014年3月、「和食」文化の継承に意欲をもった和食料理人と大手食品メーカーが集結し、設立。現在、全国約70名の和食料理人と約70社の企業が活動に参加。和食料理人が全国の小中学校を訪問し、学校栄養職員と連携した献立開発や食育授業を実施。



当日タイムスケジュール（調整中）

10:00～10:05	開会挨拶
10:05～11:15	【講演】北海道内生産者オンライン講演リレー「道内農業の多様性と、そこで育まれる食文化」
11:15～12:20	【講演】道内栄養教諭等による講演リレー「調理・食文化・食育。様々を乗り越えた各地の事例」
12:20～12:30	質疑応答・感想
12:30	閉会

栄養教諭・学校栄養職員向けオンラインセミナー お申し込み方法 【10月21日（金）締め切り】

下記のURLもしくは右のQRコードを読み取りの上、参加フォームにご回答ください。

<https://forms.gle/GEWu1H3DrAquUV38>

お申込みいただいた方には後日、メールにて詳細の案内をお送りします。

お問い合わせ先：和食給食応援団（合同会社五穀豊穰）

MAIL: washoku-kyushoku@gokokuhoujou.jp FAX:03-6893-6712

